

令和4年度 行政評価の取組結果（広報室）

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善						
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					R3年度	R4年度		人件費 （目安） 金額 （千円）	R4年度 事業 評価	評価の理由	R4年度 局施策 評価	局施策評価の理由及び課題	R6年度予算要求に向けた 施策の方向性	
						指標名等	現状値 （基準値）	R3年度		R4年度		中期 目標	決算額 （千円）							予算額 （千円）
Ⅲ-1-(3)-④ 高度情報社会への対応	1	①	情報発信デジタル化推進事業	広報課	必要な人に迅速・効果的に市政情報を届け、かつ必要な情報を探しやすい環境づくりを進めるため、「北九州市ホームページ及び公式LINE」、「市政だよりWeb版」等、市広報媒体の改善・機能追加を行う。また、高齢者等インターネットを活用できない方々へのきめ細かな情報発信のため、「地上デジタル・データ放送（dボタン広報誌）」を活用した情報提供を行う。	市公式LINE配信メッセージの開封率	—	目標	70.0 %	70.0 %	70%以上（毎年度）	19,174	20,000	17,940	16,725	順調	「市公式LINE配信メッセージの開封率」については、利用者の興味を引く文章や利用者がメッセージを開封しやすい時間などを意識した配信を行った。目標を若干下回る数値ではあるが、96.3%の達成率であるため、「順調」と判断。	順調	【評価理由】 dボタン広報誌や市政だよりWeb版の運用に加え、市ホームページの改修や北九州市LINE公式アカウントの機能追加などを行い、市民に向けてより便利で、きめ細やかな情報発信を実現できたため、「順調」と判断。  【課題】 より効果的な情報発信を行っていくため、利用状況などの分析を行い、媒体の改善・機能追加に加え、媒体のPRを進めていく。	今後も市ホームページや公式LINEなどをはじめとする市広報媒体の改善・機能追加を積極的に行い、市民に対して、迅速・効果的に市政情報を届け、かつ必要な情報を探しやすい環境づくりを進める。
Ⅲ-3-(3)-① 市民参画と協働のための仕組みづくり	2	①	タウンミーティング開催事業	広報課	様々な政策課題について、市民と市長が直接対話するタウンミーティングを開催し、市民の意見を伺うとともに、市民が市政への理解を深めることで市民と市との協働によるまちづくりを進めることを目的とする。	市民の市政への関心・理解度	95.4% (H29年度)	目標	90.0 %	90.0 %	90%以上（毎年度）	774	1,624	0	3,315	遅れ	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止等により、タウンミーティングが一度も開催できなかったため、「遅れ」と判断。	遅れ	【評価理由】 タウンミーティングが一度も開催できなかったため、「遅れ」と判断。  【課題】 事業の見直しを行う。	「市民のこえ」や「パブリックコメント」など、個人が手軽に市政に市民意見を伝える他の手法が定着してきたため、令和5年度に事業を見直し廃止とした。今後も、事業毎に必要なに応じて市民の意見を伺いながら、引き続き市民と市との協働を進める。